

波及事故について

さまざまな被害を伴う重大な事故です。



波及事故とは、高圧受電設備などで起きた事故が原因で、電力会社の配電線に接続されている住宅、ビル、工場、病院、銀行、交通機関、交通信号システムなど、さまざまな範囲に停電が広がる事故を言い、毎年全国で400件から500件発生しています。波及事故が発生すると、自社の損失のみならず、他社の工場の操業停止やデパートの営業停止、信号機の消灯など、社会的に大きな影響を及ぼすため、**場合によっては多大な損害賠償を請求されるケースもあります。**また、**停電だけでなく、機器が損壊し修理や取り替えが必要となる場合もあります。**波及事故は設置者の責任が問われ、さまざまな被害を伴う重大な事故なのです。

波及事故の損害額について

1. 波及事故発生者の損害額例

- ① 突然の停電による操業停止等の費用
- ② 緊急の仮設工事の費用
- ③ 破損した電気工作物の改修費用
状況により100万円～1千万円以上と様々です。

2. 波及事故被害者の損害額例

- ① 突然の停電による操業停止等の費用
状況により1千万円を超える事例もあります。

参考：関東東北産業保安監督部
「波及事故防止のお願い～自家用電気工作物設置者の皆様へ～」

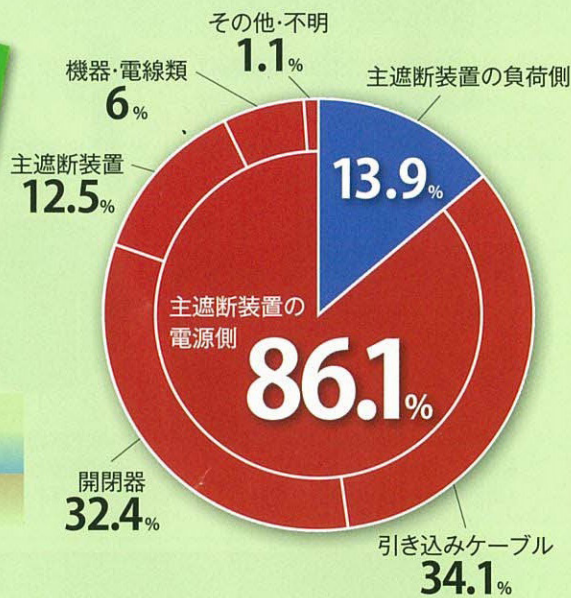
波及事故発生箇所の割合 (平成21・22年度平均)



波及事故の86.1%が
主遮断装置の電源側
から発生しています。

主遮断装置の電源側 主遮断装置の負荷側

※構内1号柱または地中引込用開閉器から主遮断装置の間のケーブル、主遮断装置本体など



参考：(一財)電気工事技術講習センター
「第一種電気工事士定期講習テキスト(平成25年度版)」

波及事故の主な発生原因 (平成21・22年度平均)



参考：(一財)電気工事技術講習センター「第一種電気工事士定期講習テキスト(平成25年度版)」

波及事故防止のための対策が重要です!